

間投助詞と「や・を」の識別 確認テスト（古典文法） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾

組 番 氏名

/100点

本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 月やあらぬ春や昔の春ならぬ。
- ② いざ、子どもや、いざ給へ、海行かむ。
- ③ 都をば霞とともに立ちしかど、秋風ぞ吹く白河の関。
- ④ あはれや、いとほしき人をば失ひつるかな。
- ⑤ 花の色は移りにけりな、わが身世にふるながめせしまに。
- ⑥ この子いと美しきを、世になく思ひかしづく。
- ⑦ 君や来む我や行かむのいさよひに。
- ⑧ 山里は冬ぞさびしさまさりける、人目も草もかれぬと思へば。
- ⑨ あな恋しよ、いつまた逢はむと思ふらむ。
- ⑩ 風をいたみ岩うつ波のおのれのみ。
- ⑪ いづれの山か天に近き、と問ひければ。
- ⑫ 春の野に葦摘みにと来し我を、野をなつかしみ一夜寝にける。
- ⑬ 雪や降る、空の気色のあやしきに。
- ⑭ 命を惜しまず、ただ君がためにと進みけり。
- ⑮ あはれ、いと寒き夜かな、霜や置くらむ。
- ⑯ 都を出でて、はるばる来ぬる旅をしぞ思ふ。

設問

1. ①「月やあらぬ」の傍線部「や」は、間投助詞・係助詞・格助詞のいずれか答えよ。
 - その「や」のおおよその意味（疑問・反語・詠嘆など）を答えよ。
2. ①の例文「月や昔の春ならぬ」全体を現代語訳せよ。
3. ②「子どもや」の傍線部「や」は、間投助詞・係助詞・格助詞のいずれか答えよ。
 - この「や」の働き（詠嘆・呼びかけ・語調を整える）を答えよ。
4. ③「都をば」の傍線部「を」は、間投助詞・格助詞・接続助詞のいずれか答えよ。
 - そう判断した理由を簡潔に述べよ。
5. ④「あはれや」の傍線部「や」は、間投助詞・係助詞・格助詞のいずれか答えよ。
 - この「や」の働き（詠嘆・呼びかけ・語調を整える）を答えよ。
6. ⑤「わが身」の傍線部「が」は、間投助詞か否か答え、正しい助詞の種類を答えよ。
7. ⑥「美しきを」の傍線部「を」は、間投助詞・格助詞・接続助詞のいずれか答えよ。
 - 接続助詞の場合、順接・逆接・単純接続のどれか答えよ。

8. ⑦ 「君や来む」の傍線部「や」は、間投助詞・係助詞・格助詞のいずれか答えよ。
 - 係助詞の場合、結びの語「来む」の活用形を答えよ。
9. ⑧ 「思へば」の傍線部「ば」は、間投助詞か否か答え、正しい助詞の種類を答えよ。
10. ⑨ 「あな恋しよ」の傍線部「よ」は、間投助詞・係助詞・格助詞のいずれか答えよ。
 - この「よ」の働き（詠嘆・呼びかけ・語調を整える）を答えよ。
11. ⑨の例文「あな恋しよ」を、傍線部の働きがわかるように現代語訳せよ。
12. ⑩ 「風をいたみ」の傍線部「を」は、間投助詞・格助詞・接続助詞のいずれか答えよ。
 - 「を…み」の形を含めて現代語訳せよ。
13. ⑪ 「いづれの山か」の傍線部「か」は、間投助詞か否か答え、正しい助詞の種類と、結びの活用形を答えよ。
14. ⑫ 「我を」の傍線部「を」は、間投助詞・格助詞・接続助詞のいずれか答えよ。
 - そう判断した理由を簡潔に述べよ。
15. ⑬ 「雪や降る」の傍線部「や」は、間投助詞・係助詞・格助詞のいずれか答えよ。
 - 係助詞の場合、結びの語「降る」の活用形を答えよ。
16. ⑭ 「命を惜しまず」の傍線部「を」は、間投助詞・格助詞・接続助詞のいずれか答えよ。
 - この「を」が示す文法的な関係（対象・起点など）を答えよ。
17. ⑮ 「霜や置くらむ」の傍線部「や」は、間投助詞・係助詞・格助詞のいずれか答えよ。
 - 係助詞の場合、結びの語「置くらむ」の活用形を答えよ。
18. ⑯ 「都を出でて」の傍線部「を」は、間投助詞・格助詞・接続助詞のいずれか答えよ。
 - この「を」が示す文法的な関係（対象・起点など）を答えよ。
19. 間投助詞「や」と係助詞「や」を見分けるときの着眼点を、結びとの関係に触れて一文で述べよ。（記述）
20. 格助詞「を」と接続助詞「を」を見分けるときの着眼点を、「を」が付く語に触れて一文で述べよ。（記述）